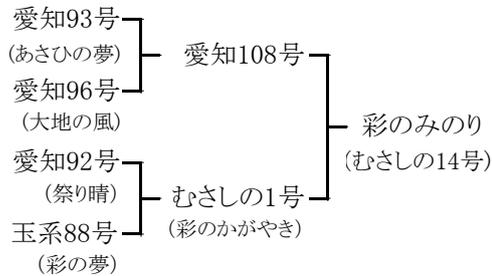


準奨励品種候補 水稻うるち「彩のみのり」の品種特性

農林総合研究センター水田農業研究所

1 系譜図



2 品種の特性（「朝の光」に比べて）

- (1) 出穂期、成熟期ともほぼ同じ
- (2) 稈長は5cm程度短く、穂長はやや長く、穂数はやや少ない「中間型」
- (3) 草姿は分けつ期～成熟期まで、葉が立ち、受光体勢に優れる
- (4) 耐倒伏性は「強」で倒伏しにくい
- (5) 縞葉枯病抵抗性、穂いもち圃場抵抗性「強」、ツマグロヨコバイ抵抗性
- (6) 食味は「朝の光」～「キヌヒカリ」並の良食味
- (7) 玄米の外観品質は同等
- (8) 穂発芽性は「やや難」
- (9) 千粒重は1g程度重く、粒厚は厚い

表1 生育・品質・収量調査成績

品種系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	倒伏 程度	もみ 枯細 菌病	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	精玄 米重 (kg/a)	同左 比率 (%)	千粒 重(g)	外観 品質
彩のみのり	8.23	10.8	0.0	0.2	77	21.6	358	57.0	100	22.4	4.3
朝の光	8.22	10.8	0.6	0.4	82	20.8	399	56.8	100	21.5	4.4

※移植期:6月22日、諸障害の程度は無:0,微:1,少:2,中:3,多:4,甚:5

表2 粒厚歩合及び食味官能検査結果

品種名	粒厚歩合(%)		熊谷市産 官能検査
	1.9mm以上 早種	普通種	
彩のみのり	90.3	79.9	+0.050
朝の光	85.8	70.0	-0.300
キヌヒカリ	—	—	+0.050

注) 1.粒厚歩合はH18,19の平均値
2.官能検査は(財)日本穀物検定協会による、基準はコシヒカリ複数産地ブレンド

3 栽培上の留意点

- (1) 穂いもち圃場抵抗性を有するが、多発生が予想される場合は防除を行う。
- (2) 耐倒伏性は「強」であるが、食味及び品質の低下を避けるため、窒素肥料の多投入をしないよう留意する。